

令和8年度 岡南飛行場航空機離陸時安全確保業務委託仕様書

岡南飛行場航空機離陸時安全確保業務（以下「委託業務」という。）は、次の仕様に基づいて実施するものとする。

1 目的

この仕様書は、岡南飛行場滑走路東側に隣接する岡山市道を通行する者及び車両その他の安全を確保するため定めた岡山県岡南飛行場における航空機（ジェット機）の離陸手順書（以下「手順書」という。）を円滑に実施するため、受託者の業務を示すものである。

2 業務内容

手順書における安全監視員の業務に従事するものとし、以下の事項のほか、委託者の指示に従うこと。

- ① 別紙安全監視員配置図の安全監視員2の地点における無線連絡、交通監視及び安全確認
- ② 歩行者等への離陸時のジェット機後方からの退避要請
- ③ ①の地点におけるジェット機離陸時の車両等の待機要請
- ④ 別紙巡視経路図に示す午前8時30分、午前11時30分、午後2時30分及び午後5時00分に行う飛行場施設の定期巡視※定期巡視（午前8時30分）における3階展望デッキ出入口の解錠を含む。
- ⑤ その他委託者が必要と認める保安業務の補助

3 従事期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日の午前8時30分から午後6時00分まで
*始業及び終業時には管理事務所備付の出勤時配置確認簿に記入すること。

4 場 所

岡山県岡南飛行場管理事務所、飛行場内及び隣接市道の別紙安全監視員配置図の安全監視員2の地点

5 従事者数

1名

6 安全監視員の資格等

交通誘導や無線通信等本業務に必要な知識を有し、適切な判断能力を有する経験豊富な人員を配置すること。

7 服装及び装備

- ・安全監視員は、業務に従事する時は、制服及び名札を着用し、貸与する無線機器を常に携帯し、連絡を取れるようにすること。
- ・業務に必要な車両は受託者で用意すること。

- ・ビニール袋、火鉢はさみ及びバケツ等の定期巡視で使用する消耗品については、委託者側で用意する。
- ・交通誘導指示具、拡声器及び管制塔との無線通信のための機器等は委託者が貸与するので、委託者の指示に従い装備すること。

8 その他

- ① 別紙安全監視員配置図の安全監視員1については、別の委託事業者が従事するので、適切に連絡・調整をすること。
- ② 安全監視員の休息・休憩等の管理は受託者側で対応すること。
- ③ 受託者は、本業務を実施するにあたって、第三者に損害を与えた場合は、その損害を賠償すること。
- ④ 毎日の業務終了時に、その日の業務内容をまとめた報告書を提出すること。
特にジェット機の離陸があったときは、概ねの離陸時間、27側からの離陸か09側からの離陸かを明記すること。
- ⑤ 本仕様書に定めのない事項が発生した場合は、その都度協議すること。

岡山県岡南飛行場における航空機（ジェット機）の離陸手順書

R6. 2. 22 岡南飛行場管理事務所

岡山県岡南飛行場を利用する航空機（ジェット機）が、滑走路東側（27側）から離陸する場合には、滑走路東側に隣接する市道を通行する人、自転車、車両その他の安全を確保するため、必ず次の手順により発進すること。

記

- 1 管制塔は、航空機（ジェット機）が離陸するためにエプロンから滑走路東端（27側）に機体を移動させる旨の無線連絡を受けた場合は、通常の応答に加えて、「滑走路末端より前から離陸すること」についても併せて連絡すること。
- 2 離陸機は、エンジン噴射口が滑走路末端を確実に越える位置まで、機体を前進させる。
- 3 管制塔は、離陸機から離陸準備が整った報告を受けたら、速やかに**安全監視員**に無線連絡し、市道の状況を確認する。
※管制塔・・・対空1（無線呼称）
- 4 **安全監視員**は、それぞれ市道の状況を確認し、安全と判断した場合は、その旨、管制塔に無線連絡する。
なお、安全と判断する距離は、滑走路末端後方から60秒程度で車が走行する距離とする。
- 5 管制塔は、2名の**安全監視員**から共に安全である旨の連絡があった場合は、速やかに離陸機に向け、離陸可能であることを無線連絡する。
※北側に配置された安全監視員・・・警備1（無線呼称）
※南側に配置された安全監視員・・・警備2（無線呼称）
- 6 離陸機は、管制塔から上記離陸可能である旨の無線連絡を受けた後は、速やかに離陸を開始する。
- 7 **安全監視員**は、4の連絡後、新たに車両等の接近があった場合は、離陸機が離陸するまで、車の停止等の協力を依頼する。
- 8 管制塔は、対象機が離陸した場合、**安全監視員**にその旨を無線連絡する。

安全監視員配置図

安全監視員 1



安全監視員 2